元結いの党政調会長・現衆議院議員
柿沢未途

●収録日時：2002年

若い力で日本を変えていきたい！と清々しい東京都議時代の柿沢氏。総理の椅子も見えてきた？

■司会　東京都議会議員に当選されて、NHKの記者時代と生活は変わりましたか？

■柿沢　取材をして紙面に載せるのと、議会で質問するのは同じような作業です。そういった意味では、民意を得て、政策という記事を書いていく、ジャーナリストの政治家が必要だと思います。

■司会　都議会議員は、60人くらいですか？

■柿沢　倍以上の127名が東京都内に各選挙区から選ばれます。自民党55人、民主党24人、公明党23人、共産党15人、国政にない政党で生活者ネットワークが7人、会派に属さない単独で行動している独立した立場の議員が4人で、私はその一人です。

■司会　代表を務める「1／2の会」はどのようなものですか？

■柿沢　私が若いので「半人前の会？」と聞かれますが(笑)。スローガンは「税金半分、議員半分、役人半分、幸せ2倍」で、行政のスリム化と地方分権の受け皿としての「東京12区構想」を掲げています。議員も役人も、役所が使うお金も多い。半分にすれば税金も半分で、みんなの幸せにつながるのでは、という考えです。そのためには大胆な市町村合併により、東京23区と60ほどの市町村を12の区に再編します。重複する役所の仕事を大胆にスリム化します。地方分権、道州制に向かう時代ですから、国から権限を譲渡し、区市町村が力を付けていく。権限を持つためには、ある程度の人口規模のサイズが必要なのです。

■光永　東京って大きいですね。

■柿沢　生活圏が一つの地区単位に収まるように広域的に再編すべきです。

自治体のスリム化は首をかけて提案している

■柿沢　役所が権限と財源を拡大して無駄な投資を行い過ぎた事を反省し、国も自治体もスリム化を実行しないと、莫大な借金を抱え倒産してしまいます。先日の議会では「おやじが泣いているぞ」など怒号のような野次が飛び交いました。自分の首が危なくなる話で、すごい抵抗がありますが、私自身も自分の首をかけて提案しています。

カジノ構想で東京に観光資源を

■司会　お台場にカジノを作るという石原都知事の提案に賛成されていますね？

■柿沢　臨海副都心というのは、私の選挙区である江東区が主です。更地が多いですが、観光スポットとして賑わっています。海外から、アジア全体から、さらなる観光客を呼び寄せられる起爆剤として、カジノを中心としたエンターテインメント・スポットを立地させたいと考えています。

　カジノだけでなく、周りにテーマパークがあれば、大人から子供まで楽しめる場所になります。経済活性化、東京の観光資源として、タイムリーな起爆剤として、期待できると思います。

　熱海、石川県珠洲市、秋田、沖縄、宮崎、大分などでも「カジノ待望論」が巻き起こっています。私は大学時代、競馬サークルにいました。競馬は文化で、欧州では紳士・淑女の社交場です。カジノも海外では社交場と捉えられています。ギャンブルを破産するまでやらずに、日本人も大人として上手に楽しむ事ができるように成熟していると感じます。

■司会　法律的には？

■柿沢　国の法律を変える必要があり、ようやく「公営カジノを考える国会議員の会」という議員連盟ができたところです。

石原VS柿沢パート2実現の日は遠くない？

■司会　未途さんは31歳と大変お若いですが、今後は？

■柿沢　自民党でも民主党でもない都議会議員ですから、自由に発言し、行動し、マクロに物が見られる貴重な経験をしていると思います。最終的には、若い世代の力で日本を変えていきたいと思っています。

■光永　父上の地盤を引き継ぐ事も考えていますか？

■柿沢　私は政治家を志した人間で、総理大臣を目指さない人は一人もいないと思います。

■光永　都知事も総理大臣になりたいと思っているんだろうか？

■柿沢　国政にチャンスがあれば戻りたい、首相になりたい、国の舵取りを任せてもらいたい、という思いはあるでしょう。その時は、私が対抗馬で出るかもしれません(笑)。石原VS柿沢パート2が見られるかもしれません！

プロフィール

柿沢未途

かきざわ みと

1971年、大蔵官僚の父・柿澤弘治氏の赴任先だったベルギーで生まれ、生後3ヶ月で日本に帰国。麻布高等学校、東京大学法学部卒業。1995年、NHKに入局し、長野オリンピックの報道に携わった。

1999年、弘治氏の東京都知事選出馬を契機にNHKを退職。2000年の衆院選で弘治氏が当選し、国政に復帰すると共に、氏の秘書を務める。2001年、東京都議会選に江東区から出馬し、初当選する。

2009年の衆院選で、みんなの党公認で東京15区から出馬して比例東京ブロックで復活、初当選を果たす。みんなの党では江田憲司幹事長の側近として政調会長代理を務めた。2013年には結いの党を設立し、政調会長及び幹事長代理（渉外担当）に就任する。現、衆議院議員